

## ■パネルディスカッション【事例報告】

### ◎NPO法人 八女町並みデザイン研究会

○テーマ：「町家の保存と伝統技術の再生・継承」

○発表者：理事長 中島 孝行

団体所在地：〒834-0031 八女市本町 315 番地

☎0943-22-5804（中島孝行アトリエ）

E-mail：[naka-atelier-97@wind.ocn.ne.jp](mailto:naka-atelier-97@wind.ocn.ne.jp)

URL：<http://yame-machiya.net> 「八女町家ねっと」

理事会等：理事 12 名（理事長・中島孝行）

会員数：正会員 57 名（内訳：設計士 15、工務店等 42）

年会費：正会員 3,000 円、賛助会員 10,000 円

設立年月日：平成 12（2000）年 4 月

#### ●八女福島の町並みの概要

八女福島の町並みは近世初期に整備された福島城の構成を残しつつ、江戸から明治期に物産の集散地として栄えた商家町である。大火を経験して江戸後期に完成した「居蔵」と呼ばれる重厚な妻入り入母屋大壁土蔵の町家をはじめ、多くの町家が連続して残っている。明治中期と昭和初期の道路拡幅に伴う町家の軒切によって正面の一階意匠が大きく変化した。2002 年（H14）に重伝建地区に選定され、207 棟の建築物を特定している。



八女福島の町並み

#### ●NPO法人八女町並みデザイン研究会

会では「八女の歴史的文化遺産等の調査研究及び保存活用並びに伝統構法の継承等に関する事業を行い、文化的景観を活用したまちづくりに寄与する」ことを目的にし、具体的には調査研究及び保存活用、修理・修景工事の相談、技術研修、八女のまちなみ・むらなみ等のデザイン研究に係わる事業を行っている。現在、会員は 53 名、内設計 15 名、工務店等 36 名、事務局 2 名で構成し、八女福島と黒木の伝建地区で活動している。

#### ●主な活動内容

##### 1) 小学生の伝統工法体験学習の開催

未来を担う子ども達に町並みや伝統的建造物の歴史・文化を継承していくことが重要と認識し、学校と連携して地元福島小学校の 6 年生を対象に町家や町並みに関する出前授業及び土壁塗り・ペンガラ柿渋塗り・三和土・伝統技術の体験学習会を実施している。

##### 2) 学習会・研修会

伝統構法の技術習得として修理・修景の現場を利用しての学習会や他地区の技術者と交流を目的に作事組全国協議会に参加している。設計担当者会では痕跡調査・履歴調査の学習会も行っている。

##### 3) 修理・修景事業の設計監理と施工

伝建・街環事業の補助事業として年に 10 棟ほどの修理・修景事業を行っている。それを会員が設計監理及び施工に携っている。設計監理担当者は会員から希望者を募り、施主からの要望で決定している。施工については施主が会員から選定した 3~4 施工者による入札で決定している。設計においては痕跡及び履歴調査を行い、大学等の専門家の指導を受けながら取り組んでいる。

##### 4) その他

地元住民向けの無料相談や修理・修景後の見学会等も定期的に行い、町家等の伝統的建造物の維持の普及活動及び市からの要請された建造物の履歴調査も行っている。



小学生の土壁塗り体験学習会



三和土の学習会

#### ●課題と展望

痕跡・履歴調査の充実を計り、文化財としてより正確な修理を目指すと共に失われつつある伝統の技も再生し、次代に継承するシステムづくりや職人の育成も急務である。年々修理技術は向上しているが、伝建地区内の修理・修景事業だけでは技術の習得、継承には限界がある。その為には、業としての生計が成立つように地区以外の伝統家屋の保存再生のための調査・普及活動や伝統構法で地場産材を活用した「八女産住宅」を開発し、普及活動に取組みたい。